



高槻ロータリークラブ
2021~2022
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
URL <http://www.takatsukirc.org/>
E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 (3/9 は 12:30~13:10)
例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954年6月15日

会長 羽根田茂子 幹事 河合一人 クラブ運営委員長 浦中郁文 会報担当副委員長 浜田哲也

No.30 2022年3月9日 発行

3月は水と衛生月間

第3265回 本日(3/9)の例会

- ◎ ソング・・・四つのテスト
- ◎ 卓話 内本 繁君
「たかつき観光大使」
- ◎ 例会後の行事
第4回被選理事会

第3266回 次週(3/16)の例会

- ◎ ソング・・・手に手つないで
- ◎ 卓話 IAC 活動報告
高槻中学高等学校インターアクトクラブ
顧問 野村 聡一様
卒業生 柳 蒼太様
会長 西田 怜可様
- ◎ 例会後の行事
20の集い

※2022/3/23(水)は、定款による休会

先週(3/2)の例会から

◎ゲスト・ビジター

計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
47 名	42 名	100 %
前々回例会補正後出席率		100 %
但し、Mup	0 名	欠席者 0 名
出席規定適用免除有資格者	3 名	

◎会長の時間

先週の土曜日に 1M2 組のロータリーリーダーが高槻東RCのホストにより開催されました。コロナの時期ですのでハイブリッドで開催されました。実出席されました方は大変ご苦労様でした。

まずオープニングセレモニーで高槻芥川高校のコロナを吹っ飛ばすかの若さ溢れる和太鼓の演奏で始まりました。公演は「危機の時代を生き抜いた近江商人に学ぶ」という題で同志社大学の名誉教授の末永先生の時節を得たお話を聞き、近江商人の歴史から三方よしの精神、いわゆる個人の利益より社会貢献を重視する日本企業の原点を学ぶことが出来ました。

1M2 組のロータリーリーダーはコロナで2年間やむなく開催されませんでした。今回は3年ぶりにハイブリッドという未来に向けた新しい形で開催されました。

ロータリーリーダーと言いますのはポールハリスが3人でロータリーを創設したことを記念して開催されたのが始まりということですが、今は1M2組の15クラブの会員がロータリーの精神のもと、会員相互の親睦と知識を学び、さらに会員全員にロータリー情報を伝え、奉仕の理念を勉強するために開催される会合でもあります。決議や決定などありません。ですから各クラブの例会と同じと思っていただけたらと思います。この1Mの出席はメーキャップの対象になります。

次年度はきっとコロナも収まって明るい年になることを信じ、その時は会員全員の参加をお願いいたします。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

シェカール・メータ RI 会長

◎幹事報告

・3月ロータリーレート 1ドル:116円

◎委員会報告

○クラブ組織委員会

松下 浩章

・会員手帳が新しくなりました。本日皆様に配布しております。宜しく願い致します。

○国際奉仕委員会

飯田 哲久

・「対面式ヒューストン国際大会開催のお知らせ」が届いており、2/21(月)に会員各位へメールまたはFAXにてご連絡しております。参加される会員の皆様は、内容をご確認の上ご登録頂きますよう宜しく願い致します。

○地区大会実行委員会

浜田 厚男

・3/26(土)PETS と 4/9(土)地区研修協議会におきまして、次年度地区大会のPRを行います。どちらの日程も開催場所は大阪国際会議場です。回覧を回しますので、多数の皆様のご参加を宜しく願い致します。時間などの詳細につきましては、改めてご連絡致します。宜しく願い致します。

◎卓話

・藤井会員の卓話は、P.3に掲載しております。



◎ニコニコ箱報告

・誕生記念内祝

波々伯部君、飯田君、小阪君、清水君、篠原君、

浦中君 (3月19日で54才になります。3ロータリーゴルフコンペの日なので優勝目指して頑張ります！)

・結婚記念内祝

入谷君、倉本君、白石君、山室君、河合君、川面君、中西君、山口君、山室君

・創業記念内祝

藤田君 (あつという間に24周年になりました。もっとがんばります。)

白石君

・卓話を聞いていただきありがとうございました。

藤井君

本日の合計	¥ 90,000-
7/1 よりの累計	¥1,073,000-

◎R 財団への寄付

藤井 敏雄君	¥ 5,000-	入谷 治夫君	¥ 5,000-
河合 一人君	¥ 5,000-	川面 智義君	¥ 5,000-
倉本 進君	¥ 5,000-	中西美代子君	¥ 5,000-
白石 純一君	¥ 5,000-	浦中 郁文君	¥ 5,000-

本日の合計	¥ 40,000-
7/1 よりの累計	¥ 969,000-
〔 年次基金会員より	¥ 735,000-
ポリオプラス会員より	¥ 234,000-
一人当たり平均	\$ 185.73

◎米山奨学会への寄付

白石 純一君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥ 5,000-
7/1 よりの累計	¥ 420,000-
〔 会員より	¥ 185,000-
クラブより	¥ 235,000-
一人当たり平均	¥ 8,936-

◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	¥ 0-
7/1 よりの累計	¥ 635,000-



◎3/2 卓上花

スプレーカーネーション

黄色…… 美・友情

オレンジ… 純粋な愛

カスミソウ……… 無垢の愛・感謝

- 1903年 キュリー夫人が放射性物質を発見し、ノーベル賞を受賞。
その後、1930年代にかけて陽子、電子、中性子が発見され原子物理学の基礎が確立された。さらに放射線を照射すると物質その物に変化することが確認され、リーゼイトナー女史により核分裂の概念が導入された。そして、分裂する時の放出エネルギーが寡大であることが確認され、人類は究極のエネルギーを手にした。
- 1938~39年 ナチスドイツがチェコ・ポーランドに侵攻し第2次世界大戦が始まる。科学者たちはドイツがベルギー領コンゴのウラン鉱採掘権を手に入れたことから、核兵器開発を始めているのではないかと懸念していた。
- 1939年 「アインシュタインの手紙」 ヒトラーの迫害を逃れた3人の物理学者がルーズベルト大統領に核兵器開発を進言した。大統領は「ウラン諮問委員会」を作ったが具体的な動きはなかった。
- 1940年 「フィリッシュ・バイエルンスメモ＝原爆開発の起源」 2人のユダヤ人科学者が、わずか450gのウラン235があれば原子爆弾が作れるとの見積りをイギリス政府に提出した。イギリス政府は「モード委員会」を作り、研究に着手するも戦況の悪化により米国に研究の移管を詳細報告書と共に依頼した。
- 1942年 「マンハッタン計画」 ニューメキシコ州ロスアラモスに4000人の科学者と家族が参加。所長は原爆の父と言われるユダヤ人科学者のR.オッペンハイマー、予算20億ドル（現代価値で2兆円）でスタートした。
- 1943年 ジュリオキュリー（キュリー夫人の娘でノーベル賞学者）などの情報で、ドイツが原爆を開発していない事が明らかになったが、研究は続けられた。
- 1945年 4/12 ルーズベルト大統領死去
4/25 トルーマン、スチムソン陸軍長官、グローブス中将で日本への投下を決定。
4/27 「目標選定委員会」が設定され、投下スケジュール、投下地点の検討を開始。
5/7 ドイツが降伏しヨーロッパ終戦。
7/16 原爆実験成功。
7/26 トルーマン大統領が日本にポツダム宣言の受諾を勧告。
8/6 広島に投下。（ウラン235爆弾、通称リトルボーイ）
8/9 長崎に投下。（プルトニウム239爆弾、通称ファットマン）
8/15 終戦

〈結論〉

1. 日本に原爆が投下される明確な理由はなかった。
2. 人類は核エネルギーを使うに、十分な技術・倫理観を持っていない。